



**The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships**  
**30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534**

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8264 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・  
新興国市場開拓事業  
(研修・専門家派遣事業)

2019年10月

## 募集要項

品質管理研修コース

## The Quality Control Training Course [QCTC]

2020年2月19日～3月6日

## 1. コース開設の背景

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2018 年度（平成 30 年度）までに世界 171 カ国から延べ 194,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 204,000 人余りが参加しています。

「品質管理研修コース（QCTC）」は、一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）が「技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）」のスキームで実施する管理研修コースの 1 つです。本コースは、開発途上国を対象として、日本企業に特徴的な経営・管理手法やその根底にある考え方を学ぶために設計されたコースの一つで、製造業に従事する管理者の品質管理能力向上を図ることを目的に、1979 年に開始いたしました。今回で 42 回目となります。

## 2. 対象国：

対象国・地域一覧をご確認ください。

<https://www.aots.jp/application/files/3715/6342/9347/taishokoku.pdf>

## 3. 参加者の人数：

22 名

## 4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、製造業の TQM・品質管理の推進に携わる管理者・監督者、スタッフで、QC 七つ道具の基礎的知識を有する方
  - (2) 年齢は 20 歳以上の方
  - (3) 原則として、3 年以上の実務経験を有する方
  - (4) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
  - (5) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
  - (6) 心身健康な方
  - (7) 開発途上国または地域に居住の方
  - (8) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
  - (9) 過去に低炭素技術輸出促進人材育成事業及び技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- \* 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、現地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日系企業や現地資本企業以外からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) AOTS の管理研修コースは、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政

府機関に所属する方は参加できません。

- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

## 5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

### （日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

AOTS のホームページ内の以下の案内をご参照の上、応募書類一式を **2019 年 12 月 4 日（水）** までに、AOTS 研修・派遣業務部（10．お問合せご参照）に到着するよう提出してください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

### （海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外事務所もしくは海外協力団体を通して、以下の応募書類一式を **2019 年 12 月 4 日（水）** までに AOTS 事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS 海外事務所もしくは AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外事務所もしくは海外協力団体による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (2) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (3) 顔写真（4×3cm）2 枚（裏面に名前を書いてください）
- (4) 勤務先概要を紹介する資料
- (5) パスポートコピー

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

- (6) 事前研修レポート
- (7) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式）
- (8) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式）

※この書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。

- (9) 管理研修の研修効果について（AOTS 所定様式）

※この書類は、質問形式となっております。原則として本人の勤務先の代表者の方がご記入ください。（本募集要項の最後にこの様式があります。）

- (10) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

注意：

※ソフトコピーでの書類は受け付けません。

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 海外事務所もしくは AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、2020 年 1 月 23 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時時点で 20 名に満たない場合、本コースを中止または延期する可能性があります。

## 6. 研修コースの概要：

### ■ 目的

製造業に従事する管理者の品質管理能力の向上を目的とします。

### ■ 期待される効果

- (1)TQM(Total Quality Management)の実践についての理解が増進します。
- (2)TQM を包括的なシステムとして推進できる能力が向上します。

### ■ 期間

2020年2月19日（水）～3月6日（金）（2 週間）

### ■ 内容

#### 【ステップ 1】

TQM の概念とその進め方、及び QC 的ものの見方・考え方の概要を学びます。

#### 【ステップ 2】

日本の TQM 実践において重要な「日常管理と方針管理」、「品質保証」、「生産システム」、「QC サークルによる人材育成」について、講義、演習（ケーススタディ及びシミュレーション）、企業見学を通して体系的に学び、日本企業の強みについて理解を深めます。

#### 【ステップ 3】

測定データを活用した実践的演習を通じて、QC 的視点による「問題解決と継続的改善」について体系的に学び、帰国後の自社の課題に向けた TQM 推進の取り組みにつき自身の役割を認識します。

※TQM の仕組みや手法について、午前は講義で理論的知識を得、午後はケーススタディやシミュレーションを通して、それらの理論をどう実践するかを学べるカリキュラムになっています。このカリキュラムは、TQM・品質管理の推進に携わる管理者・監督者、スタッフとして「何をどのようにすべきか」ということに焦点をあてており、帰国後、すぐに実践につなげることができます。

コースは通常午前 3 時間、午後 5 時間の課程からなります。夕食後にグループワークが行われることもあります。日程表（予定）をご覧ください。

### ■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

### ■ コースディレクター

岩崎 日出男 近畿大学名誉教授

日本品質管理学会名誉会員、デミング賞本賞受賞(2013)、元デミング賞委員会副委員長など品質管理界で活躍。

### ■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 関西研修センター（KKC）<http://www.aots.jp/jp/center/about/kkc.html>

558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香 1 丁目 7-5

電話： 06-6608-8260（受付） ファックス： 06-6690-2678

## 7. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

## 【試算例1】中堅・中小企業の場合

2/18来日・2/19～3/6 研修コース参加・3/7帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>184,107</u>	122,738	61,369
		[2/3]	[1/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	248,000	160,000
3. 国内移動費	<u>1,800</u>	1,800	
(関西 空港 - 関西研修センター)			
合計	<u>593,907</u>	<u>372,538</u>	<u>221,369</u>

## 【試算例2】一般企業の場合

2/18来日・2/19～3/6研修コース参加・3/7帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>184,107</u>	61,369	122,738
		[1/3]	[2/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	204,000	204,000
3. 国内移動費	<u>1,800</u>	1,800	
(関西 空港 - 関西研修センター)			
合計	<u>593,907</u>	<u>267,169</u>	<u>326,738</u>

## 【試算例3】一般企業（アフリカからの受入）の場合

2/18来日・2/19～3/6研修コース参加・3/7帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>184,107</u>	92,053	92,054
		[1/2]	[1/2]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	218,000	190,000
3. 国内移動費	<u>1,800</u>	1,800	
(関西 空港 - 関西研修センター)			
合計	<u>593,907</u>	<u>311,853</u>	<u>282,054</u>

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。

※渡航費は補助対象外となります。

※別途、運営賛助金のお支払いについてご相談させていただきます。

※研修コース参加後に実地研修をご希望の場合、経費については、AOTS研修・派遣業務部 研修業務グループ（10. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金10億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	8,180 円/泊
	来日日以外	9,020 円/泊
研修旅行時	宿舎費	10,267 円/泊
	食費	2,620 円/泊
雑費		1,040 円/泊

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。

(<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>)

## 8. 査証（V I S A）の取得について：

### (1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

### (2) 査証の取得

AOTS 研修参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって在外日本国大使館/総領事館（以下「在外公館」とする）にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただきます。

ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合がありますので時間に余裕をもって申請願います。

### (3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「A P E C ・ ビジネス ・ トラベルカード（A B T C）」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致しているかについて、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

## 9. 個人情報の取扱いについて：

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

### (1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先： 総務企画部 総務グループ

電話：03-3888-8211 E-mail: [kojinjoho-cj@aots.jp](mailto:kojinjoho-cj@aots.jp)

### (2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。

それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

10. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

研修・派遣業務部 研修業務グループ

住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-12-5 白鶴ビル 4階

電話：03-3549-3051

Fax：03-3549-3055

E-mail: [g-ukeire-ak@aots.jp](mailto:g-ukeire-ak@aots.jp)

海外の法人から直接のお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1丁目 30-1

電話：03-3888-8256

Fax：03-3888-8264

E-mail: [shouhei-au@aots.jp](mailto:shouhei-au@aots.jp)

海外事務所

バンコク事務所 (Bangkok Office)

次長 戸田 英信

住所：Nantawan Building 16F, 161 Rajadamri Road, Pathumwan, Bangkok 10330

電話：66-2-255-2370

Fax：66-2-255-2372

E-mail: [information@aots.or.th](mailto:information@aots.or.th)

ジャカルタ事務所 (Jakarta Office)

所長 田中 雅聡

住所：3A Floor, Graha Mandiri, Jl. Imam Bonjol No. 61, Jakarta 10310

電話：62-21-230-1820～1

Fax：62-21-230-1831

E-mail: [information@aots.or.id](mailto:information@aots.or.id)

ニューデリー事務所 (New Delhi Office)

所長 神田 久史

住所：Office Unit 12A, Rectangle One, D-4 Saket District Center,  
New Delhi, 110017

電話：91-11-4105-4504

E-mail: [info@aots.org.in](mailto:info@aots.org.in)

ヤンゴン事務所 (Yangon Office)

所長 馬場 宏和

住所：Room Unit 401, Yuzana Hotel 4th Floor, 130 Shwe Gon Taing Road, Bahan Township, Yangon

電話：95-1-8604922

E-mail: [info@aots.org.mm](mailto:info@aots.org.mm)

※各国の海外協力団体についての情報は事業統括部海外協力グループにお問合せください。

品質管理研修コース【QCTC】

品質管理研修コース [QCTC] 日程(予定)

2020年2月19日～3月6日

AOTS 関西研修センター (予定)

月/日	午 前		午 後
2月18日 (火)	(来日)		
19日 (水)	オリエンテーション 開講式		講義：TQMの基本 -品質、PDCAサイクル
20日 (木)	講義：方針管理と日常管理 -方針管理・日常管理の進め方		ケーススタディ：方針の策定と展開 -方針の策定と展開について帳票を用いたシミュレーション、GD
21日 (金)	講義：生産システムの確立		講義：生産システムの事例研究
22日 (土)	休日		
23日 (日)	休日		
24日 (月)	講義：QCサークルによる人材育成 -人材育成と継続的改善の重要性、QCサークルの推進		ケーススタディ：QCサークルの活性化策の作成 -特性要因図・系統図作成
25日 (火)	講義：TQMの進め方とQC的ものの見方・考え方		ケーススタディ：QC的ものの見方・考え方 -改善活動事例についてのグループ討論 (GD)
26日 (水)	(遠隔地) 企業見学	企業見学：QCサークル活動事例	企業見学：TQM推進事例
27日 (木)		企業見学：日本的生産方式事例	
28日 (金)	講義：工程の管理と改善		
29日 (土)	休日		
3月1日 (日)	休日		
2日 (月)	講義：品質保証の進め方		ケーススタディ：QC工程表の作成
3日 (火)	演習：問題解決と継続的改善の体験学習(球Cゲーム)		
4日 (水)	演習：問題解決と継続的改善の体験学習(球Cゲーム)		
5日 (木)	演習：問題解決と継続的改善の体験学習(球Cゲーム)		
6日 (金)	最終発表		総合質疑 /修了式
7日 (土)	(帰国)		

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。



## PRE-TRAINING REPORT

- The Quality Control Training Course -

- Continuous Improvement at Production Sites through the Perspective of Energy Conservation -  
[QCTC]

The form of “Pre-Training Report” for this training program is composed of the following three documents: Pre-Training Report itself and Questionnaires 1. These documents will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.

\*AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.

Note: Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English. Handwriting should be avoided.

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization (Please give a brief description or outline of your company/organization. In addition, please also attach a brochure of your company/organization if available)	
5. Your position and name of your department/division  (preferably by attaching an organizational chart indicating your position)	
6. Your duties in detail	

7. Present activities for quality improvement in your organization	
7-1. Does your organization organize any QC circle activities? <span style="float: right;"><input type="checkbox"/>Yes <input type="checkbox"/>No</span>	
8. Most critical problem you are now facing in your quality improvement activities	
9. Your expectations of the program in relation to the described problems	

Name	Country
------	---------

### *Questionnaire 1* Level of Comprehension

Please indicate the level of your comprehension by checking the appropriate boxes.

**Level a** : You have ever applied it in your work.

**Level b** : You know what it is. Or you have ever learned it in school or by yourself.

**Level c** : You do not know it well. Or you have never heard of it.

No.	Subject	Comprehension			No.	Subject	Comprehension		
		a	b	c			a	b	c
1	Pareto diagram				17	TPM			
2	Histogram				18	PDCA cycle			
3	Cause & Effect diagram				19	QC circle			
4	Scatter diagram				20	QC story problem solving			
5	$\bar{X}$ -R control chart, X-R control chart				21	Quality deployment/ Quality function deployment			
6	p chart, np chart				22	Quality table			
7	u chart, c chart				23	FMEA/FTA			
8	Stratification				24	Design review			
9	Relation diagram				25	QC process chart			
10	Tree diagram				26	Standard operation procedure			
11	Matrix diagram				27	Process capability			
12	Normal distribution				28	Cost of quality			
13	Standard deviation				29	Management by Policy (Hoshin Kanri)			
14	3-Sigma rule				30	Daily (work) management			
15	SQC				31	Cross Functional management			
16	TQM				32	ISO9001			



benefits of this during the year after the training? Please provide your rough estimate below.

About \_\_\_\_\_ people

Question 4:

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training, what benefits do you expect? Tick the following statement that applies to you (multiple answers allowed).

- A reduced load to the environment and energy saving will be realized.
- Technology development and product design and development will be possible in the home country.
- Production capacity will expand. [About \_\_\_\_\_] %
- Productivity will increase. [About \_\_\_\_\_] %
- Product and service quality will improve. [About \_\_\_\_\_] %
- Costs will be reduced. [About \_\_\_\_\_] %
- Market will be extended.
- Others [\_\_\_\_\_]

Question 5:

Please provide the sales amounts of your company.

Actual sales for the last fiscal year [\_\_\_\_\_] USD \* 1 USD = 112 JPY

Estimated sales for this fiscal year [\_\_\_\_\_] USD \* 1 USD = 112 JPY

Question 6:

The AOTS training program costs about 6,000 USD per person to run the course. Do you think the AOTS training programs produce enough benefits to justify the expense (6,000 USD)? Tick the following statement that applies to you.

- Yes
- No

Question 7:

The following question is relevant to the above Question 6. Supposing that the expense (6,000 USD) is defined as “1”, describe the benefits obtained from the AOTS training program in numerical value. Roughly assess the benefits for the next five years after the training. Tick the following statement that applies to you. A very rough estimate is fine. Your response is highly appreciated.

- Below 1.0 => Provide a specific value [\_\_\_\_\_]
- 1.0 or above and below 1.5
- 1.5 or above and below 2.0
- 2.0 or above and below 2.5
- 2.5 or above and below 3.0
- 3.0 or above => Provide a specific value [\_\_\_\_\_]

End of document